

# 「戦争と医の倫理」の検証を進める会 27日に設立大会

「戦争と医の倫理」の検証を進める会準備委員会は、9月27日、東京で同会争と「医学犯罪」と題し、常石敬一神奈川大学教授が記念講演を行う。

(2面に詳報)

## 「戦争と医の倫理」の検証を

### 9月27日に東京大学で設立大会

#### 常石敬一教授が記念講演 15年戦争と「医学犯罪」

日野原重明聖路加国際病院理事長や酒井シズ日本医史学会理事長はじめ著名な医師、医学者、生命倫理や歴史の研究者、弁護士などが参加する「戦争と医の倫理」の検証を進める会準備委員会(事務局・全国保険医団体連合会)は、9月27日、同会の設立大会を開催し、「戦争と医の倫理」の検証に向けた活動を開始する。

同準備会では「これからの医学・医療の発展には、人間の尊厳や人権を基本とすることが何より大切。そのためには、日本なども参加して議論を重んじて、本邦の医学者・医師がかねて「設立趣意書」をまとめた「戦争中に731部隊で行った『人体実験』」など非人道的行為を史実に基づいて検証し、その教訓を生かすことが欠かせない」としている。

保団連では、第27回日本医学会総会出席「戦争と医学」実行委員会の活動を継承し、「戦争と医の倫理」の検証を進める会の発足に協力してきた(写真参照)。今後も事務局団体として同会の発展に努力することとしている。

同準備会の顧問でもある日野原氏は、「人間のいのちは、国籍や人種との差別なく、一様に大切なものであり、傷つけ合う争いは否定されるべきであります。このことを医療や看護や福祉事業に参与している者です。戦争が起ると、人間同士はいのちの尊厳を忘れて傷つけ、いのちを殺すような行動がとられます。それを二度と起こさないためには、過去の戦争に

◎日時 9月27日(日)午後1時~4時  
◎場所 東京大学医学部総合中央館(医学部図書館)3階会議室  
◎主なプログラム(設立大会から誰でも参加できます)  
(第1部) 設立大会  
(第2部) 記念講演「15年戦争と『医学犯罪』」  
常石敬一神奈川大学教授



「戦争と医の倫理」国際シンポジウムのもよう(大阪・たかつガーデン)2007年4月8日

よって行った生命にとつての非倫理的行動の实体をまづ把握し、それが2度とおこらない平和運動に参与すべきものと考えます」としたメッセージを寄せている。